

はじめに

「ノーツに格納されたデータから資料を簡単に作成したい」と思ったことはありませんか？

ノーツExcelを利用すればノーツに格納されたデータを簡単にEXCELファイルに書き出し、

EXCELを利用して色々な資料を作成することが可能になります。

特徴

- ・ビューで表示されている内容を絞り込んで書き出すことができます。
例えば年月が表示されているビューで特定の年月を指定して書き出すことが可能です。
- ・ノーツのアドインソフトとして動作するため既存のDBを一切変更する必要がありません。ノーツ標準の「Structured Text」、「Lotus 1-2-3」書き出しなどと同様の操作で書き出す事が可能です。
具体的には、ビューが表示されている状態でメニューバーから「ファイル」-「書き出し」を選択し、ファイルの書き出しダイアログボックスで「ファイルの種類」を「ノーツExcel」に変更し、「ファイル名」を指定し「OK」ボタンを押すだけです。
- ・ビューに表示されている内容を直接「EXCEL」ファイルとして書き出します。
- ・「EXCEL」ファイルの書き出しはノーツExcelが直接ファイルを作成しています。このため「EXCEL」がインストールされていないパソコンで実行できます。
- ・EXCELファイルを作成するためにOLEを利用しないため高速です。

利用条件・試用版の制限

- ・ノーツExcelはシェアウェアです。継続してご使用頂くには、ご送金とユーザー登録をして頂く必要があります。
 - ・7日間総ての機能をご利用いただけます。
 - ・ご利用にあたって必ずランダムな文字入力を求められます。
 - ・登録料は1ユーザー5,000円です。ご送金して頂ければ、弊社よりシリアルNo.をE-mail・FAX.又は郵便にてお知らせ致します。
- ※ ご購入頂くライセンス数に応じて価格が変わります。詳細はメールにて問い合わせ下さい。

問い合わせ先

〒508-0001

岐阜県中津川市中津川2485番地

有限会社 シーエス

FAX 0573-77-1024

E-Mail info@csjpn.com

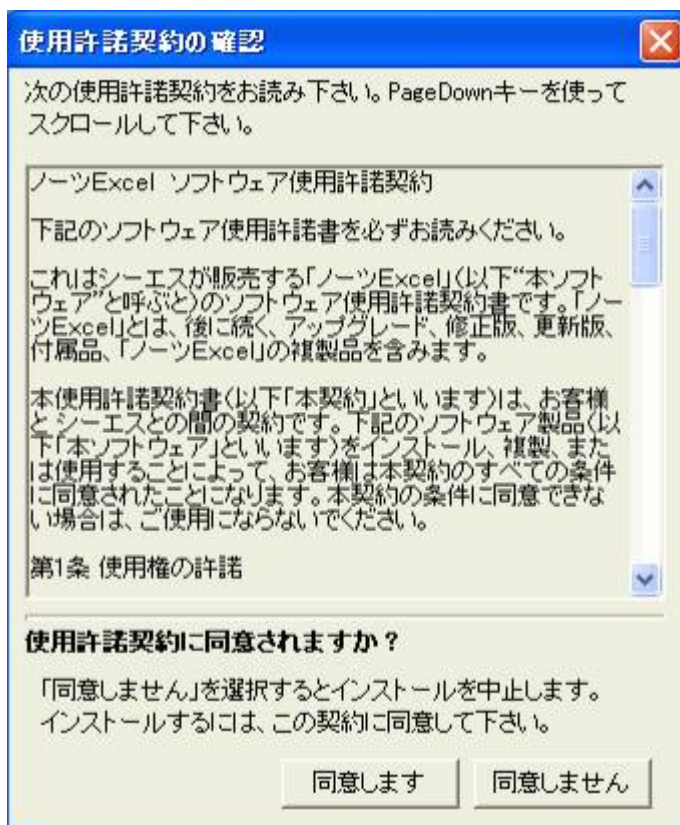
ノーツExcelのインストール

このプログラムは、ユーザー登録をしないと試用版として1週間だけ利用することが可能です。もし試用してみて、気に入って頂ければユーザー登録をお願いします。

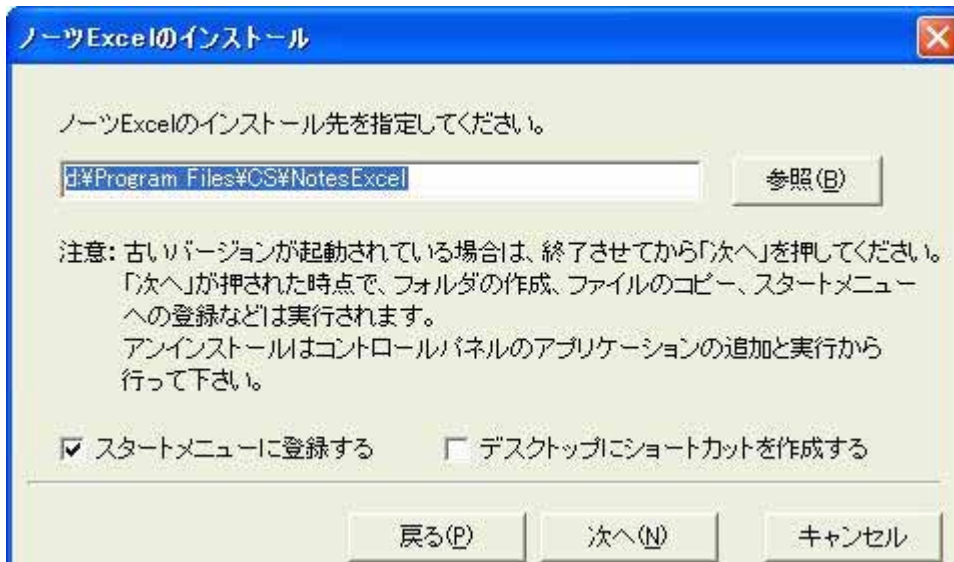
- 1 nxxls.exeを開きます。下記の様なインストール確認ダイアログが表示されます。



- 2 上記ダイアログで「はい」を選択すると、使用承諾契約の確認文章が表示されます。内容を確認のうえ「同意します」を選択します。「同意しません」を選択しますとインストールは中止されます。

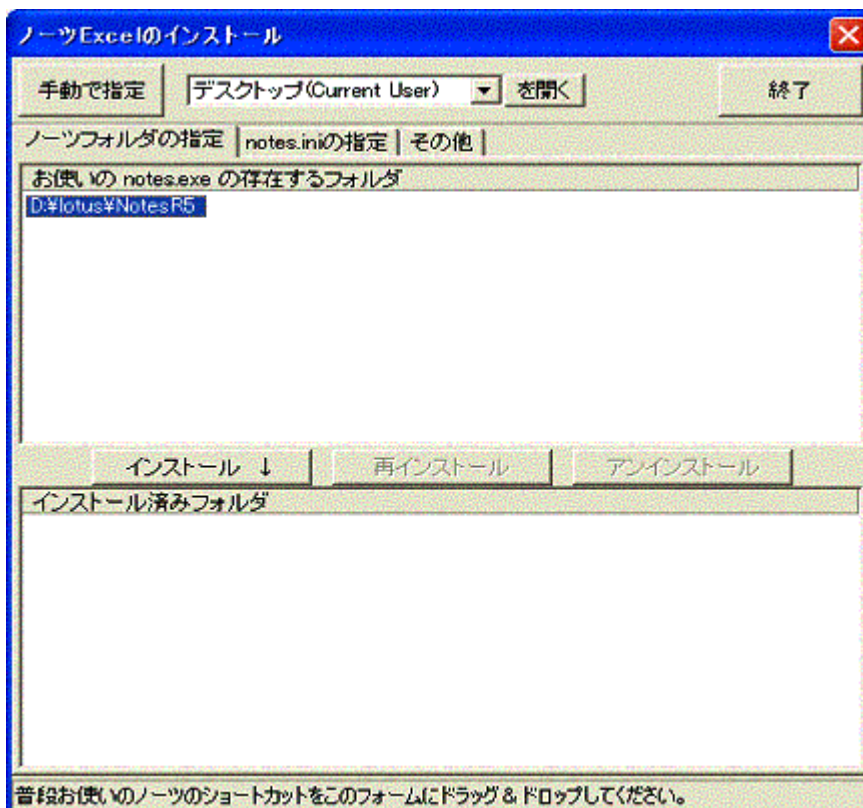


- 3 インストール先は、各自設定してください。[次へ(N)]をクリックします。(標準インストール先は、C:\ProgramFiles\CSです。)

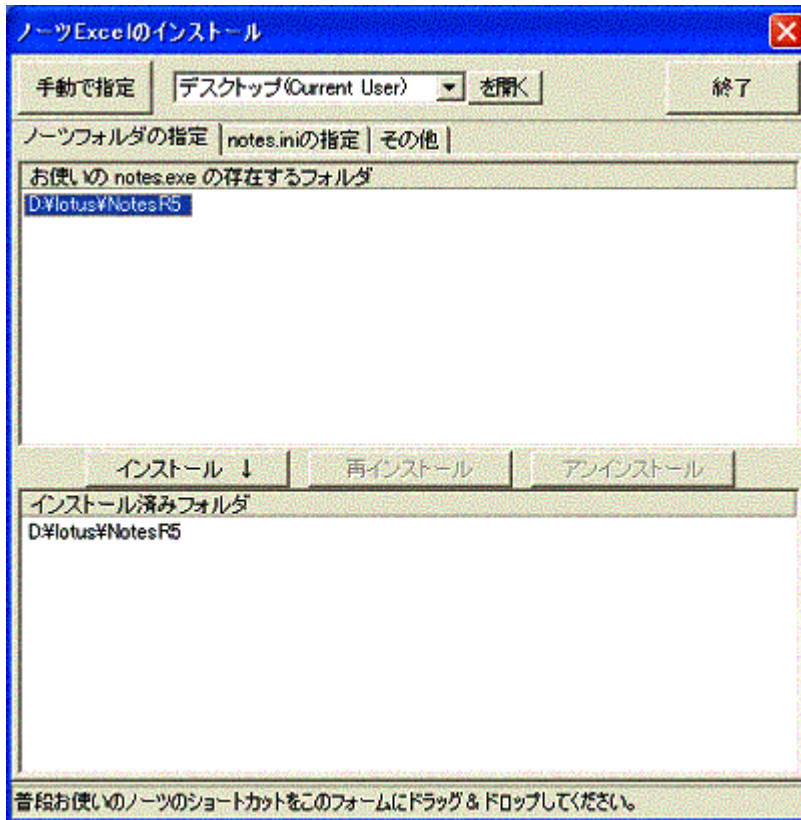


4 ノーツExcelのインストール - ノーツフォルダの指定

- ・ 普段お使いのノーツのショートカットをこのフォームにドラック&ドロップして下さい。([スタート] ボタンをクリックし、 [プログラム] [ロータスアプリケーション] [ノーツクライアント R 5] を選択して、フォームにドラックします)



- ・ インストールしたいフォルダを選択し[インストール] をクリックします。インストール済みフォルダに表示されていることを確認します。



5 - notes.iniの指定 -

- ・ インストールしたいフォルダを選択し[インストール]をクリックします。確認メッセージが表示されます。

1台のパソコンで複数の方がノーツを利用している場合、他人が利用していたパソコンを利用している場合は特にKeyFileNameの内容を確認して下さい。



- ・ [OK] ボタンを押してインストール済みフォルダに表示されます。



6 - その他 -

- ・ 「登録する」をクリックします。

あらかじめ登録するユーザー名を F A X あるいは、e-mailを利用して、弊社まで連絡願います。折り返しパスワードを連絡します。



- ・ 下記表が表示されます。ユーザー名、シリアルNo.を入力します。入力後〔OK〕ボタンをクリックします。



ユーザー登録

ユーザー名

シリアルNo.

7 [終了]ボタンをクリックします。

8 [OK]ボタンをクリックして完了します。

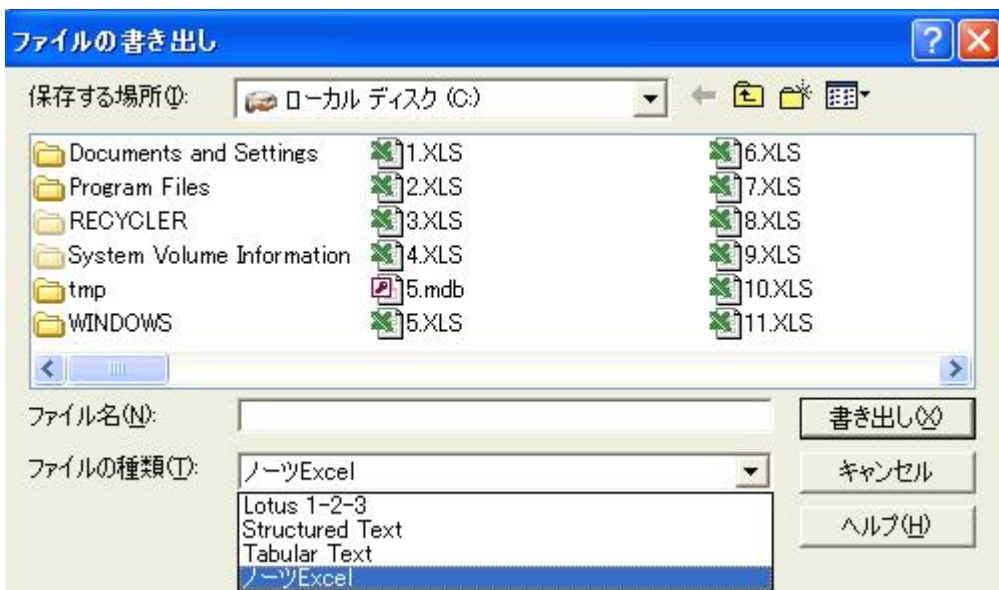


ノーツデータをExcelシートに書き込む方法

1 書き出したいノーツデータベースを開き、ツールバーのファイル「書き出し」を選択します。



2 保管する場所・ファイル名・ファイルの種類（ノーツのExcel）を入力し、書き出しボタンを押します。



3 「ビューの書き出し(XLS)ファイル」ダイアログボックスが表示されます。ここで、書き出し方法と条件を選択します。

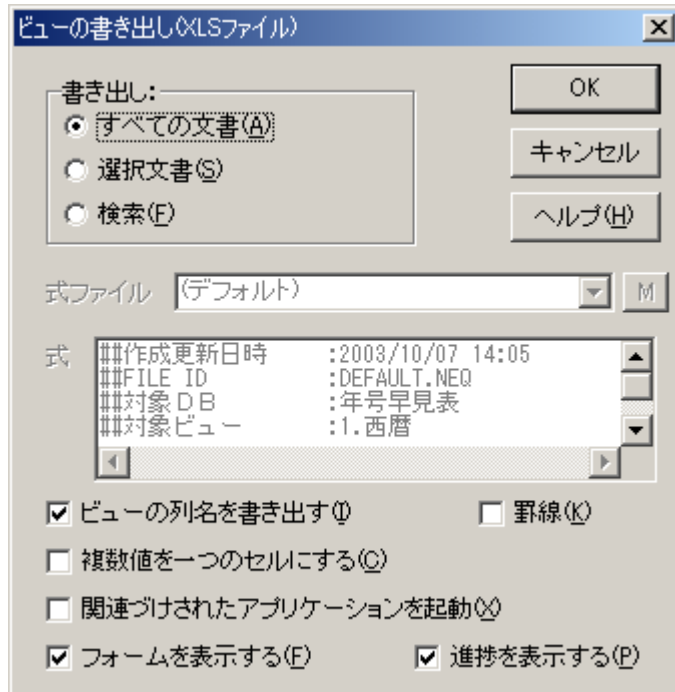
書き出したい条件をチェックし[OK]ボタンを押します。

書き出し方法

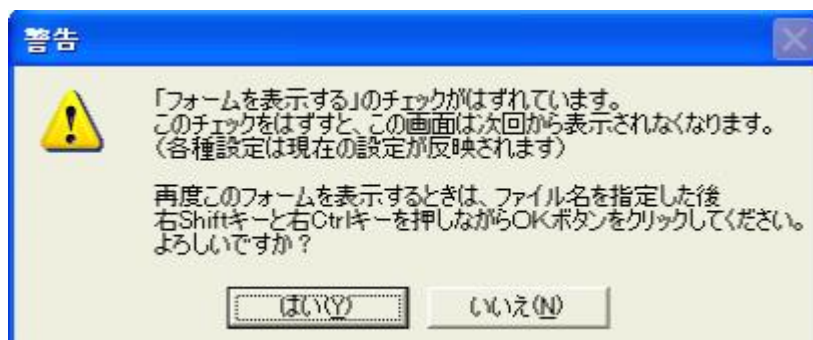
- ・すべての文書 ビューで表示されている文書すべてを書き出す。
- ・選択文書 ビューで選択されている文書を書き出す。
- ・検索 ノーツの式を指定して実際に書き出すデータを絞り込むことが可能です (V1.1追加)

書き出し条件

- ・ビューの列名を書き出す・・・ビューの列名を書き出したいときにチェックします。
- ・罫線・・・ビューを表にしたいときにチェックします。
- ・関連づけされたアプリケーションを起動・・・書き込みと同時にExcelシートを開きたいときにチェックします。



注：「フォームを表示する」のチェックをはずすと、次のような警告文が表示されます。



4 Excelを起動して書き出したファイルを編集してください。

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet with the following data:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	タイトル		更新日時		作成者							
2	カレンダー											
3	2002年度カレンダー		2002/03/28		w666							
4	シーエス											
5	80001 代休		2002/03/27		Takashi Nakamura							
6	80002 遅刻 早退		2002/07/09		Takashi Nakamura							
7	80003 評価項目		2002/11/06		Takashi Nakamura							
8	その他											
9	346P内線番号		2002/07/15		Takashi Nakamura							
10	給与											
11	アルバイト出勤簿		2002/09/26		Takashi Nakamura							
12	経営方針											
13	経営方針		2002/09/17		Takashi Nakamura							
14	文書作成規則											
15	1文書作成規則		2002/10/16		Takashi Nakamura							
16												
17												
18												

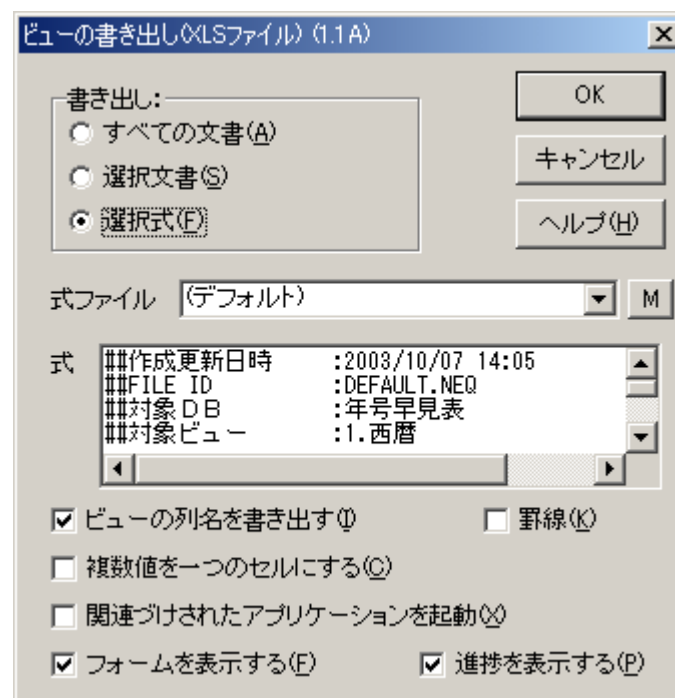
抽出条件の指定方法

概要

抽出条件は保管することが可能です。保管はテキスト形式で行われているためメモ帳などを使いこなす知識があれば修正利用することも可能です。

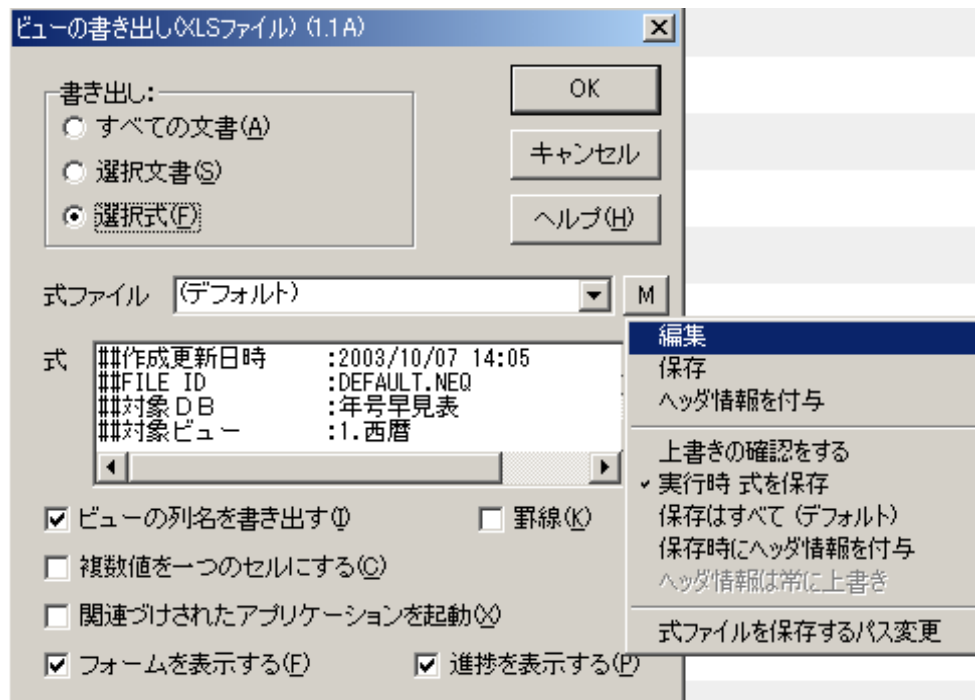
利用方法

初めて利用する場合は、最初に「編集方法」の説明を読んでください、抽出式が作成してあれば、式ファイル(初期値:デフォルト)を選択し、「OK」ボタンを押すだけで利用できます。



編集方法

ビューの書き出しダイアログ画面で、「書き出し:」ラジオボタンの「選択式」を選択し、「M」というボタンをクリックするとメニューが出てきます。



各項目の意味は以下の通りです。

編集 別窓での編集画面を表示します。

保存 式の窓にあるテキストを式ファイルに入力された名前で保存します。

ヘッダ情報を付与

式の窓の先頭にヘッダ情報を追加します。

上書き確認する ~

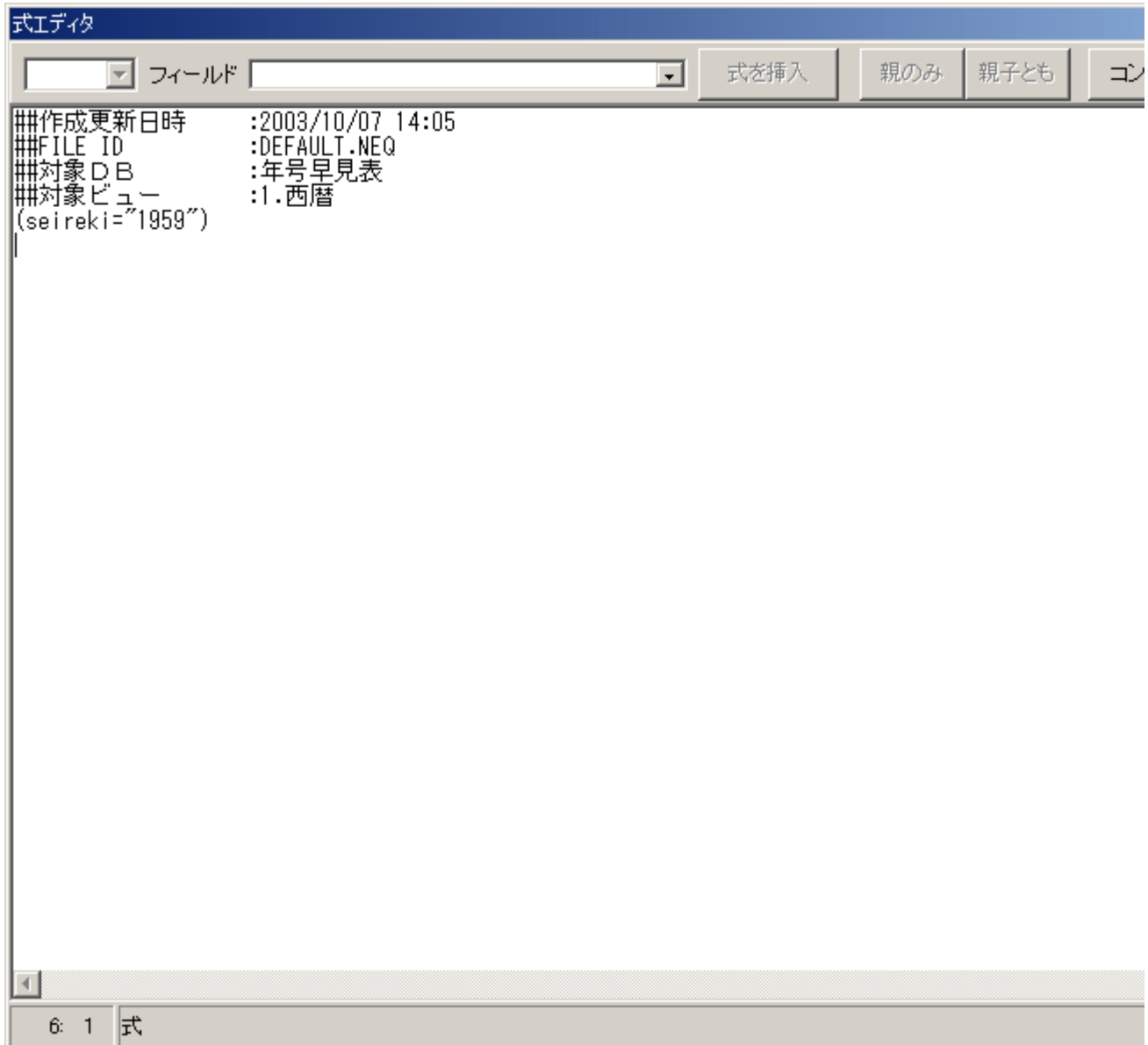
ヘッダ情報は常に上書きはチェックを入れたりはずしたりで設定を行います。

式ファイルを保存するパス変更

式ファイル(NEQ)を保存するパス (デフォルトでは nxxls.dll と同じパス) を変更します。

式エディタの使い方

1 . 「編集」をクリックすると式エディタが起動します。



2. フィールドを選択し、選択したフィールドの型によって表示されるコンボボックスとTEdit, TDateTimePickerなどで条件を設定します。

3. 「式の挿入」ボタンで、TMemo上のSelTextを適切な式で置き換えます。

例1、(@Contains(Subject;"選択式"))

例2、「seireki」列の値が1959の内容を抽出する
(seireki="1959")

例3、「seireki」列の値を画面から入力したを使って抽出する
(=)

```
#!入力値:=InputStr("Caption";"Prompt";"1989");  
Seireki=入力値
```

例4、「seireki」列の値を画面から入力したを使って抽出する(範囲指定)

```
#!入力値1:=InputStr("抽出年の指定";"最小値";"1989");  
#!入力値2:=InputStr("抽出年の指定";"最大値";"1992");  
((Seireki>=入力値1) & (Seireki<=入力値2))
```

4. 「コンパイル」ボタンをクリック。

5. 「OK」ボタンをクリック。

「親のみ」「親子とも」のボタンについて

TMemo 上で選択状態にすると、ボタンが押せるようになります。選択するのは選択式の部分だけにする必要があります。

- ・「親のみ」を押すと、
選択された選択式を(選択された選択式) & !@IsResponseDoc
と変換します。

- ・「親子とも」を押すと、
((選択された選択式) & !@IsResponseDoc) | @AllDescendants
と変換します。

両方とも選択式で絞られる条件の中から、返答文書でないものだけをまず抽出します。「親子とも」の場合だけ、抽出された文書の返答文書も抽出します。

コンパイルボタンについて

入力された式に文法エラーがないかコンパイルしてチェックします。メイン画面でOKを押したときもコンパイルされますが、式エディタ上でチェックすることで、編集しやすくします。

選択式保存形式

1. 選択式は、拡張子 .NEQ (NotesExcelQuery) のテキストファイルで保存します。

2. (デフォルト)というのは実際は DEFAULT.NEQ で、これだけ少し特別扱いになっています。「保存はすべて(デフォルト)」というメニューのチェックによります。

3. 保存する Path はデフォルトでは nxxls.dll と同じフォルダで、メニューから変更できます。

4. 行頭が # のものはコメント行です。行の途中からコメントにすることはできません。コメント行はファイルの先頭から連続している必要があります。

```
----- A -----
#
#
式
----- A -----

----- B -----
#
式
#
----- B -----
```

Aは良い例、Bは駄目な例(ファイル先頭からコメント行が連続していない)です。

5. コメントの中でも ## と #! は特別な意味があります。

6. ## で始まる行はヘッダ行で、DB名やビュー名、作成更新日時を入れます。4行あります。このヘッダ行は特にファイルの先頭にある必要があります。

7. #! で始まる行は、検索実行時にダイアログを表示し、ユーザーに入力を促す行です。以下例です。

```
-----例 1 -----
#!題名:=InputStr("Caption";"Prompt";"適当なデフォルト値");
Subject=題名
```

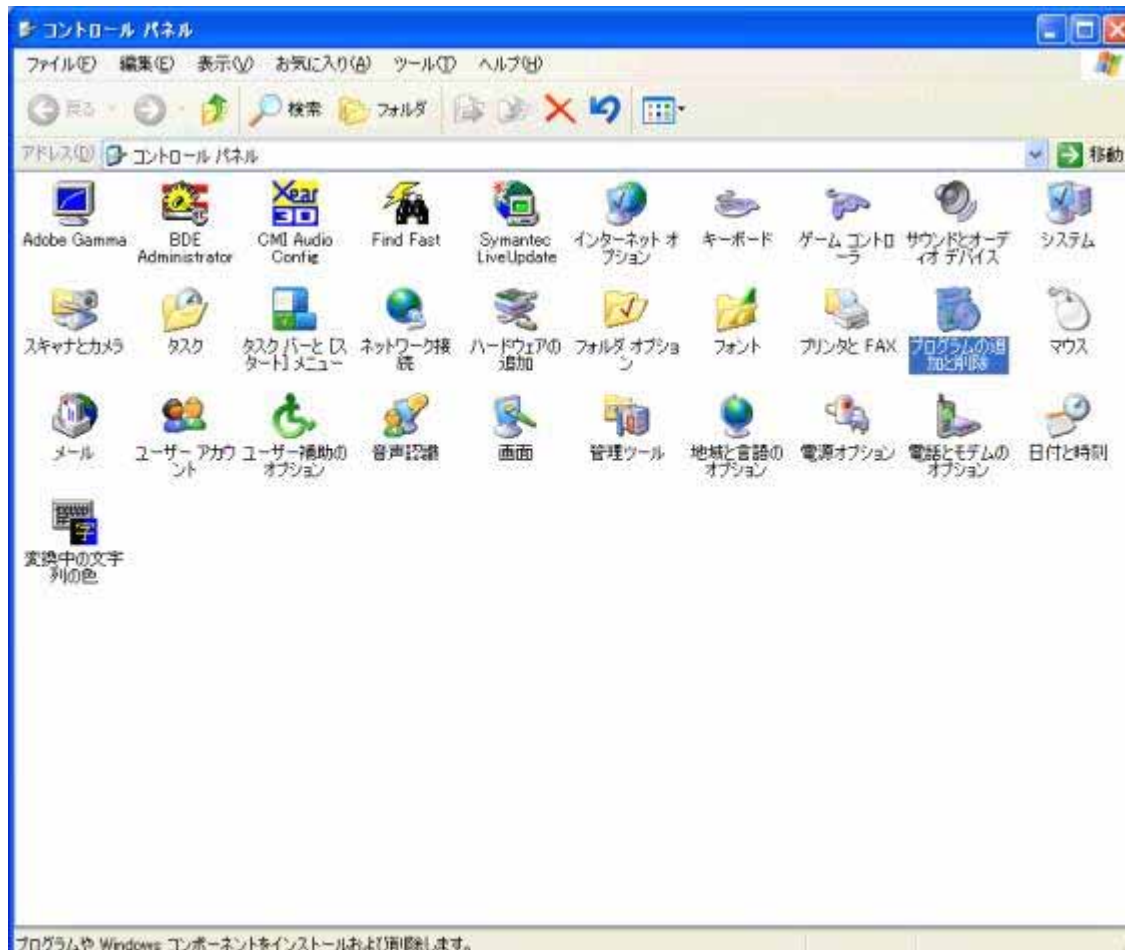
```
-----例 2 -----
#!年:=InputNum("入力";"作成日の年の部分を入力して下さい";@Year(@Today));
@Year(@Created)=年
```

```
-----例 2 -----
```


ノーツExcelのアンインストール

1 画面左下【スタート】ボタンを押し〔設定〕〔コントロールパネル〕〔プログラムの追加と削除〕を実行します。

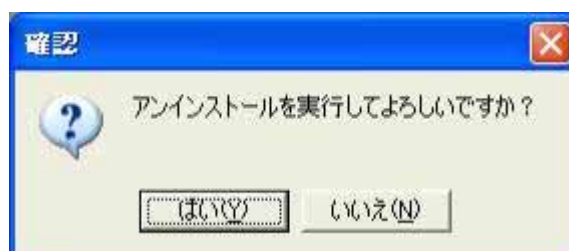
使用しているWindowsがXP以外の場合は、〔アプリケーションの追加と削除〕になります。



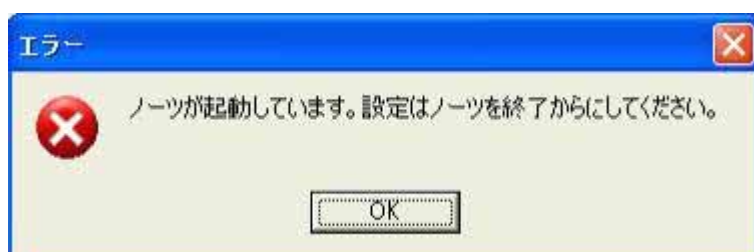
2 「プログラムの追加と削除」ダイアログで「ノーツExcel」を選択し、〔変更と削除〕ボタンを押します。



3 下記文章が表示されます。〔はい〕を押します。



4 ノーツが起動している場合は、アンインストール出来ません。この場合は、下記エラー文章が表示されます。



5 エラー文章が表示されましたら、〔OK〕を押して、ノーツを終了後はじめからやり直します。

6 3を実行すると下記ダイアログが表示され。〔OK〕ボタンを押してアンインストールが完了します。



記入年月日	西暦 年 月 日
ご連絡先住所 〒	
会社名・所属	
ご連絡先氏名	
ご連絡先電話番号	TEL : FAX :
ご連絡先メールアドレス	
製品名	ノーツExcel
ご使用のパソコンの機種名	
パソコンのメモリ容量	
Windowsのバージョン	
プリンターのメーカー・型番	
併用されているソフト	
ご購入年月日	西暦 年 月 日
お問い合わせ内容：できるだけ具体的に（状況を再現できるように）ご記入下さい。	

送付先
岐阜県中津川市中津川 2 4 8 5 番地
シーエス
F A X : 0 5 7 3 - 6 5 - 1 8 1 8

最新情報は下記URLを参照ください。
<http://www.csjpn.com>

履歴

2003年10月7日 VER1.1A リリース

- ・ビューで表示されている内容を絞り込んで抽出する機能を追加
- ・選択した文書をエクスポートするときのロジックを見直し、WAN 環境でも高速で動作するようにした。

2003年9月12日 VER1.0B リリース

- ・ビューで表示されている1行に複数值を持つ列が複数ある時に条件によってエラーが表示される
不具合を修正

2003年7月2日 VER1.0A リリース

FAQ

1. バージョンアップ方法は

新しいバージョンのnxxls.exeを単純に実行してください。具体的にはこのへの
ルプの「インストール」項目の1～3を実行します。

2. 日付の表示方法がノートで見える内容と違っていています。

具体的にはビューでは日付しか表示されていないのに、ノートExcelでは時間まで表示されています。

ノートではビューにも表示形式を設定できるようになっていますが、なぜかノート自身はその情報を無視するようです。ノートExcelではビューのエクспортなので、あえてビューの設計を尊重するようにしています。そのためノートとは表示形式が違う場合があります。

※ 標準の1-2-3への書き出しでも同じ現象が発生しています。

3. ビューの書き出しフォーム(下記)が表示されなくなっていました。

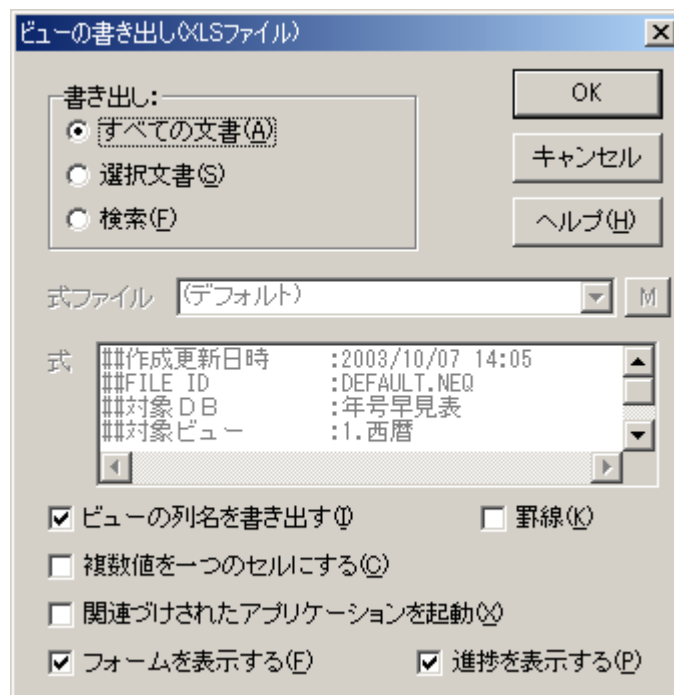


図 ビューの書き出しフォーム

前回の書き出しで「フォームを表示する」のチェックが外して実

行しています。ファイル名の指定ダイアログ

でキーボード右側のSHIFTキーとCTRLキーを押しながら「OK」ボタンをクリックしてください

4. 既存の不具合はありますか。

作成したEXCELLファイルでシート単位のコピー実行すると、条件によってEXCELL自体が異常終了する場合があります。:原因は調査中ですが現時点では修正日時などは不明です